

手遅れになる前にまず相談を!

薬物について相談できる窓口はこちら 専門家が秘密厳守で相談のつてくれます。

北海道	北海道厚生局麻薬取締部	☎011-726-1000	近畿厚生局麻薬取締部神戸分室	☎078-391-0487
	北海道医務薬務課	☎011-204-5265	福井県医薬食品・衛生課	☎0776-20-0347
	北海道立精神保健福祉センター	☎011-864-7121	福井県総合福祉相談所	☎0776-24-7311
	札幌こころのセンター	☎011-622-0556	滋賀県薬務感染症対策課	☎077-528-3634
東北	東北厚生局麻薬取締部	☎022-227-5700	滋賀県立精神保健福祉センター	☎077-567-5010
	青森県医療薬務課	☎017-734-9289	京都府薬務課	☎075-414-4790
	青森県立精神保健福祉センター	☎017-787-3951	京都府精神保健福祉総合センター	☎075-641-1810
	岩手県健康国保課	☎019-629-5467	京都市こころの健康増進センター	☎075-314-0355
	岩手県精神保健福祉センター	☎019-629-9617	大阪府薬務課	☎06-6941-9078
	宮城県薬務課	☎022-211-2653	大阪府こころの健康総合センター	☎06-6691-2811
	宮城県精神保健福祉センター	☎0229-23-0021	大阪市こころの健康センター	☎06-6922-8520
	仙台市精神保健福祉総合センター	☎022-265-2191	堺市こころの健康センター	☎072-245-9192
	秋田県医務薬務課	☎018-860-1407	兵庫県薬務課	☎078-362-3270
	秋田県精神保健福祉センター	☎018-831-3946	兵庫県精神保健福祉センター	☎078-252-4980
	山形県健康福祉企画課	☎023-630-2333	神戸市こころの健康センター	☎078-371-1900
	山形県精神保健福祉センター	☎023-624-1217	奈良県薬務課	☎0742-27-8664
	福島県薬務課	☎024-521-7233	奈良県精神保健福祉センター	☎0744-47-2251
	福島県精神保健福祉センター	☎024-535-3556	和歌山県薬務課	☎073-441-2663
関東信越	関東信越厚生局麻薬取締部	☎03-3512-8690	和歌山県精神保健福祉センター	☎073-435-5194
	関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室	☎045-201-0770	中国四国厚生局麻薬取締部	☎082-228-8974
	茨城県薬務課	☎029-301-3388	鳥取県医療・保険課	☎0857-26-7203
	茨城県精神保健福祉センター	☎029-243-2870	鳥取県立精神保健福祉センター	☎0857-21-3031
	栃木県薬務課	☎028-623-3119	島根県薬事衛生課	☎0852-22-5259
	栃木県精神保健福祉センター	☎028-673-8785	島根県立心と体の相談センター	☎0852-21-2885
	群馬県薬務課	☎027-226-2665	岡山県医薬安全課	☎086-226-7341
	群馬県こころの健康センター	☎027-263-1166	岡山県精神保健福祉センター	☎086-201-0828
	埼玉県薬務課	☎048-830-3633	岡山市こころの健康センター	☎086-803-1273
	埼玉県立精神保健福祉センター	☎048-723-3333	広島県薬務課	☎082-513-3221
	さいたま市こころの健康センター	☎048-762-8548	広島県立総合精神保健福祉センター	☎082-884-1051
	千葉県薬務課	☎043-223-2620	広島市精神保健福祉センター	☎082-245-7746
	千葉県精神保健福祉センター	☎043-263-3891	山口県薬務課	☎083-933-3018
	千葉市こころの健康センター	☎043-204-1582	山口県精神保健福祉センター	☎083-902-2672
	東京都薬務課	☎03-5320-4505	四国厚生局麻薬取締部	☎087-823-8800
	東京都立中部総合精神保健福祉センター	☎03-3302-7575	徳島県薬務課	☎088-621-2233
	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	☎042-376-1111	徳島県精神保健福祉センター	☎088-625-0610
	東京都立精神保健福祉センター	☎03-3844-2210	香川県薬務感染症対策課	☎087-832-3301
	神奈川県薬務課	☎045-210-4972	香川県精神保健福祉センター	☎087-804-5565
	神奈川県精神保健福祉センター	☎045-821-8822	愛媛県薬務衛生課	☎089-912-2393
	横浜市こころの健康相談センター	☎045-671-4455	愛媛県心と体の健康センター	☎089-911-3880
	川崎市精神保健福祉センター	☎044-200-3195	高知県医薬薬務課	☎088-823-9682
	相模原市精神保健福祉センター	☎042-769-9818	高知県立精神保健福祉センター	☎088-821-4966
	新潟県医務薬務課	☎025-280-5187	九州厚生局麻薬取締部	☎092-431-0999
	新潟県精神保健福祉センター	☎025-280-0111	九州厚生局麻薬取締部小倉分室	☎093-591-3561
	新潟市こころの健康センター	☎025-232-5560	福岡県薬務課	☎092-643-3287
	山梨県衛生薬務課	☎055-223-1491	福岡県精神保健福祉センター	☎092-582-7500
	山梨県立精神保健福祉センター	☎055-254-8644	福岡市精神保健福祉センター	☎092-737-8825
	長野県薬事管理課	☎026-235-7159	北九州市立精神保健福祉センター	☎093-522-8729
	長野県精神保健福祉センター	☎026-227-1810	佐賀県薬務課	☎0952-25-7082
東海北陸	東海北陸厚生局麻薬取締部	☎052-961-7000	佐賀県精神保健福祉センター	☎0952-73-5060
	富山県くすり政策課	☎076-444-3234	長崎県薬務行政室	☎095-895-2469
	富山県心の健康センター	☎076-428-1511	長崎こども・女性・障害者支援センター	☎095-846-5115
	石川県薬事衛生課	☎076-225-1442	熊本県薬務衛生課	☎096-333-2242
	石川県こころの健康センター	☎076-238-5761	熊本県精神保健福祉センター	☎096-386-1166
	岐阜県薬務水道課	☎058-272-8285	熊本市こころの健康センター	☎096-362-8100
	岐阜県精神保健福祉センター	☎058-231-9724	大分県薬務室	☎097-506-2650
	静岡県薬務課	☎054-221-2413	大分県こころからの相談支援センター	☎097-541-5276
	静岡県精神保健福祉センター	☎054-286-9245	宮崎県医務薬務課薬務対策室	☎0985-26-7060
	静岡市こころの健康センター	☎054-262-3011	宮崎県精神保健福祉センター	☎0985-27-5663
	浜松市精神保健福祉センター	☎053-457-2709	鹿児島県薬務課	☎099-286-2804
	愛知県医薬安全課	☎052-954-6305	鹿児島県精神保健福祉センター	☎099-218-4755
	愛知県精神保健福祉センター	☎052-962-5377	沖縄厚生局麻薬取締支所	☎098-854-0999
	名古屋市精神保健福祉センター	☎052-483-2095	沖縄県衛生薬務課	☎098-866-2055
	三重県薬務感染症対策課	☎059-224-2330	沖縄県立総合精神保健福祉センター	☎098-888-1443
	三重県こころの健康センター	☎059-223-5241		
近畿	近畿厚生局麻薬取締部	☎06-6949-3779		

- 全国各保健所
- 各都道府県警察署

高校卒業予定のみなさんへ

薬物 大麻

のこ と のこ と

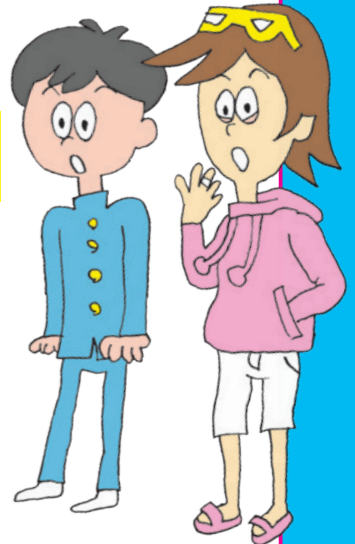
誤解して危険です!

大麻や覚醒剤はもちろん、合法と称してネットで売られているハーブ類なども、違法薬物を含んでいる可能性があります。たった1回使用しただけでも“薬物乱用”となり、繰り返し使えば脳や心身の障害が残り、人生・生活の崩壊につながる危険があります。

大麻は安全で無害だって聞いたけど…

No!

”危険のない薬物”
なんて絶対にありません!



大麻



大麻草という植物由来の薬物で、幻覚作用や記憶障害、学習能力の低下等をもたらします。近年は、新しいタイプの大麻製品や大麻が含まれる食品も登場しており、特に注意が必要です。

くわしくは中面へ!

乱用される薬物にはこんなものも…

覚醒剤



日本で最も検挙者数の多い薬物。神経に作用して異常な興奮状態をもたらし、精神依存も強いので非常に危険です。

コカイン



神経を興奮させる作用があり、幻覚等の症状や、大量摂取すると呼吸困難で死に至ることもあります。

危険ドラッグ



麻薬などに類似した有害で危険な物質を含んでおり、呼吸困難や異常行動を起こしたり、死に至ることもあります。



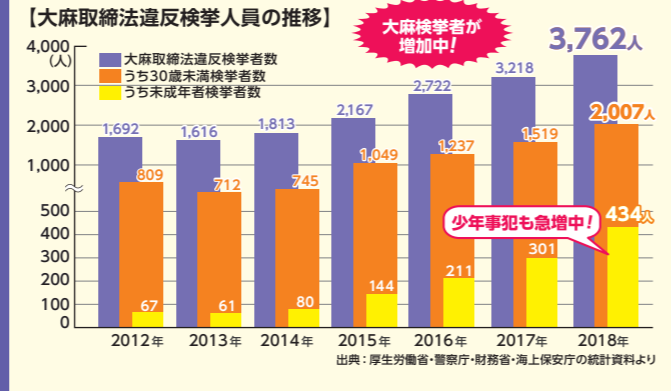
いま、危険度が増しているのは大麻です!



若者の検挙者が急増中!

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2018年には大麻事犯の検挙者が過去最高となる3,762人に上り、そのうち約半数にあたる2,007人が未成年や20歳代の青少年でした。

インターネット等において「大麻には害がない」といった誤った情報が氾濫しています。大麻の危険性を軽視すると、自分自身の脳や身体の発達を損なうだけでなく、周囲の人々へも悪い影響をもたらします。



新しいタイプの大麻加工品が登場!

大麻から幻覚成分を抽出・濃縮した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」の摘発が増加しています。

大麻リキッド



大麻ワックス



大麻を含んだ食品に気を付けて!

海外旅行でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディーなどの中に、大麻が含まれていることがあります。知らずに持ち込んで検挙されたり、誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分注意が必要です。

大麻チョコレート



大麻クッキー



大麻キャンディー



大麻の乱用による影響

大麻の花や葉に含まれるTHC(テトラヒドロカンナビノール)が、様々な障害を引き起こします。

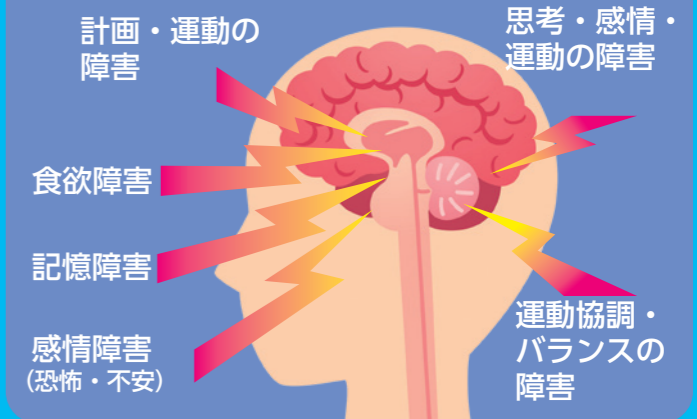
大麻の乱用による影響		大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響	
知覚の変化 時間や空間の感覚がゆがむ	情緒の不安定 イライラしたり不安になる	思考の変化 集中力がなくなる	大麻精神病 幻覚・妄想などの症状が現れる	判断力の低下 物事を考えられなくなる	無動機症候群 何もやる気がなくなる

薬物は脳にダメージを与えます。

脳は人間の心と身体をコントロールしている大変重要な器官です。乱用された薬物は脳の知的機能や記憶をつかさどる大切な部位(海馬など)に障害をもたらします。

さらに視覚や聴覚を異常に刺激して幻覚や幻聴を生み出すほか、運動神経にも影響して手足の震えや筋肉の弛緩を引き起こすことで、身体を思い通りに動かすことができなくなります。

主な脳への障害



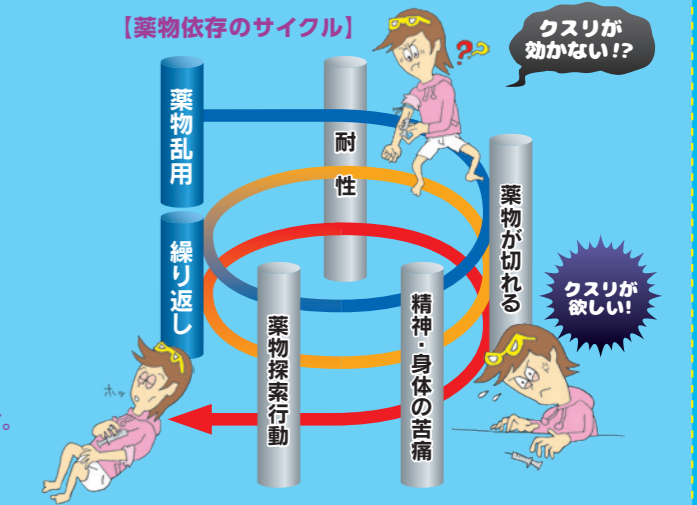
▶薬物はやめられなくなるから危険!

薬物乱用の影響はたった1度でも脳にダメージを与え、元の状態には戻らなくなってしまいます。「1回だけ」と思って乱用した人も、薬物の持つ「依存性」と「耐性」により使用する回数や量がどんどん増えていき、やがて自分の意志だけではやめられなくなってしまいます。

薬物をやめ続け、通常の社会生活を営めるまでに回復するには、生涯にわたり周囲のサポートが必要となります。

依存性 薬物を繰り返し使わずにはいられなくなり、やめ続けることが困難になります。

耐性 繰り返し薬物を使用するうちに効果が薄くなり、使用する量が増えていきます。



違法薬物は、持っているだけで犯罪です!

大麻や覚醒剤などの薬物は、誰かに渡したり、持っているだけでも法律によって厳しく罰せられます。

大麻所持・譲渡 大麻取締法 5年以下の懲役	覚醒剤所持・譲渡 覚せい剤取締法 10年以下の懲役	コカイン・MDMAなど所持・譲渡 麻薬及び向精神薬取締法 7年以下の懲役	ヘロイン所持・譲渡 麻薬及び向精神薬取締法 10年以下の懲役	指定薬物所持・譲渡 医薬品医療機器等法 3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金	あへん所持・譲渡 あへん法 7年以下の懲役
------------------------------------	--	---	---	--	------------------------------------

薬物の誘いに、きっぱりNo!と断る勇気を!!

20代の約15人に1人、10代の約28人に1人が「薬物使用経験のある知人がいる」と回答しています。薬物乱用は友達から誘われたことがきっかけになるケースが多くみられます。誘いの言葉にだまされずに、自分自身を守るためにきっぱり断ることが大切です。

断りにくい時は急いでその場から逃げましょう、逃げることも勇気です。ひとりで問題を抱え込まずに、信頼できる大人や専門の窓口にご相談ください。

出典：平成29年度厚生労働科学研究「薬物使用に関する全国住民調査(2017年)」より

